

総合分析

試験区分	一般 (前期)
------	---------

制限時間	60分	大問数	全 3 問
------	-----	-----	-------

合格に要する能力 (5段階)



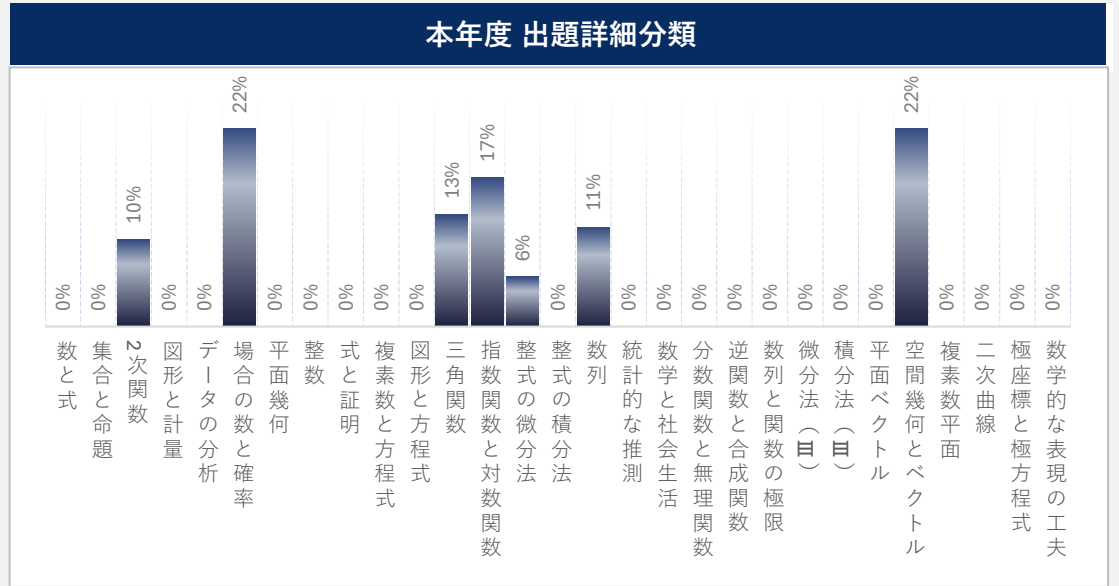
合格に要する能力 (5段階)		
計算力	3.7	高度な計算をやり遂げる力
解析力	3.3	問題文を正しく読み取る力
知識力	3.8	解くことに必要な知識の量
初手力	3.8	初手の難しさ
見極力	4.2	解きやすい問題を選択する力

特記事項	特になし
------	------

出題分野	
数学 I	10%
数学 A	22%
数学 II	35%
数学 B	11%
数学 III	0%
数学 C	22%

本年度 解答形式
マーク 100%

本年度出題テーマ一覧	
第 1 問	三角関数と指数対数
第 2 問	確率とフィボナッチ数列
第 3 問	空間幾何



特殊問題の有無	記述なし	証明なし
統計なし	数IIIなし	長文なし

総合評価			
難度	3.8	最難を 5 とする問題自体の難度	やや難しい
分量	80分	完答に要する時間 (制限時間は60分)	多い
一次合格に必要な正答率 (予想)			58%
標準			

入試の特徴と対策 強い特徴や偏りが無いバランスがとれた入試である。特別な対策は必要とせず標準的な高校数学の学習でよい。

入試から見る 大学が求める学生像 決して難しい問題はないものの制限時間を考えると適切な解法で素早く計算する力が必要となる。しっかりとした知識を持ち、その知識を適切に選択できる選択力に長けた学生を求めていると考えられる。